九月五雲能

九月十七日（土）
午後一時始
正午開場
於　宝生能楽堂

演目の解説

13:00

岩船

シテ　金井賢郎

ワキ　野口琢弘
ワキツレ　吉田祐一
〃　小林克都
間　榎本元

後見　金井雄資　亀井雄二

大鼓　亀井洋佑
小鼓　船戸昭弘
太鼓　澤田晃良
笛　成田寛人

地謡　岩上昂平　上野能寛　水上優　今井泰行　木谷哲也　佐野登　辰巳基大二郎

能「岩船」（いわふね）

市の和歌の徳を説く。天皇の臣下が高麗から来て、住吉の浦に宝船を引き寄せる。すると童子が現れ、唐土の宝を乗せて帝の御世を寿ぐ。

14:00

仏師

善竹大二郎

善竹十郎

〈休憩十五分〉

14:35

班女

シテ　内藤飛能

ワキ　大日方寛
ワキツレ　小林克都
〃　野口琢弘
間　大藏彌太郎

後見　朝倉俊樹　山内崇生

大鼓　佃良太郎
小鼓　飯冨孔明
笛　藤田貴寛

地謡　石塚尚寿　金川藤井秋雅　森瀬隆士　良充　東川武田孝史　藪川克光夫徳

能「班女」（はんじょ）

吉田の宿の遊女花子は、扇を下げて待つ。やがて来た吉上田少将は、扇を形見として花子に渡す。しかし、二人は互いに名乗らずに別れる。

16:20

夜討曽我

シテ　小倉健太郎
十郎　野月聡
団三郎　佐野玄宜
〃　上野能寛
立衆　辰巳和磨
古屋　小林晋也
鬼王　佐野弘宜
五郎丸　金森隆晋

大藤内

間　大藏吉次郎
〃　大藏教義

後見　宝生和英　當山淳司　金野泰大

大鼓　柿原弘和
小鼓　住駒充彦
笛　栗林祐輔

地謡　石塚尚寿　鶴田航己　木谷哲也　朝倉大輔　澤田宏司　小倉伸二郎　高橋憲正　田崎甫

能「夜討曽我」（ようちそが）

曽我十郎、五郎兄弟は頼朝が招集した富士の巻狩に、父の仇工藤祐経の提案で夜討ちを決めた。二人は故郷を出て従者も連れず、自分が殺害した者の言葉を聞き、母に会うために故郷へ帰る。十郎は、夜討ちを思い留まるよう説得する。納得しない十郎は、鬼王、団三郎、五郎丸の三人に、鬼王の形見を渡すと、十郎は五郎を捕らえ、兄弟は別れる。

〈休憩十五分〉

終演予定十七時三十五分頃

チケット料金（税込）

全席自由席
一般　5,500円
学生　2,750円
（当日要学生証提示）

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで